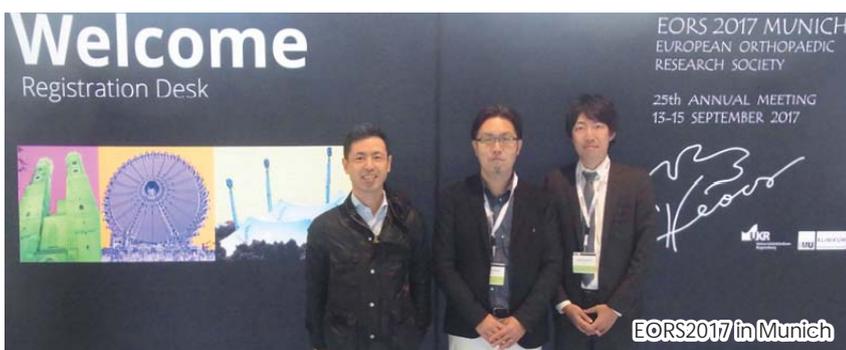




ミュウヘンでのヨーロッパ整形外科学会に参加して・・・

2017年9/13-9/15にドイツのミュウヘンで開催された**EORS (European Orthopaedic Research Society)**に藪野・澤田・広白で参加してきました。EORSは昨年のイタリアのボローニャに引き継ぎ、2回目の参加となりました。

今回の開催地であるミュウヘンは、ドイツの南部に位置し、緯度が北海道よりさらに北に位置するため、9月中旬でも寒さを感じる気候でした。日本では半袖でしたが、ミュウヘンでは長袖で朝晩はさらに冷えるため、ダウンジャケット・コートを着ている方がほとんどでした。ミュウヘンはBMWやシーメンスなど有名企業の本拠地がある工業都市であり南ドイツ最大の都市とされています。



森や山など緑も残る大自然の雄大さも味わえるとても過ごしやすい都市でした。また広場や宮殿・白い柱の神殿・バロック教会など景観も良く、我々はホテルから会場まで20分くらいかけて自転車でミュウヘンの空気や景観を楽しみながら3日間を過ごしました。

今回我々は3演題「**3Dプリンターで作成したオーダーメイドガイドを用いた人工膝関節**」、「**人工膝関節部分置換の動態解析**」、「**日本製の人工股関節の15年以上の長期成績**」について発表しました。また学会後のディナーにも参加しヨーロッパの整形外科医・研究者の方々とも交流ができ、とても有意義な時間を過ごせたと感じています。

EORSを通じてのトピックス・・・

昨年と今回を通じて、3Dプリンターを使用した手術機器・骨切りガイドやインプラントについての研究者や整形外科医の講演が多く、機器の安全性・良好な臨床成績の報告がなされていました。また、中でも、バイオ3Dプリンターという技術が注目を集めていました。この技術は、3Dプリンターを用いて再生医療を行うことです。つまり、実際の人の軟骨、半月板などの生体材料を作ることです。将来、人工関節でなく、関節自体が3Dプリンターで作成される時代が来るかもしれません。とても進歩してきている分野と感じました。

当センターでは2014年から膝人工関節部分置換に、2015年から膝人工関節全置換に、**3Dプリンターによるオーダーメイドガイド**を作成し、より正確で安全な手術手技を行っています。また以前より当センターで使用している**ナビゲーションシステム**も併用しており、患者さんそれぞれの骨形態・大きさにあったインプラント(人工関節)を選択でき、また正確な精度で設置できるため、いわゆるオーダーメイド人工関節に近い人工膝関節手術ができていると自負しております。今後もこの3Dプリンターによるオーダーメイドガイドとナビゲーションを併用して患者さんの満足度を向上させる手術を行っていければと考えています。



人工膝関節(全置換・部分置換)における3Dプリンターによるオーダーメイド骨モデル・骨切りガイド

今後もこの3Dプリンターによるオーダーメイドガイドとナビゲーションを併用して患者さんの満足度を向上させる手術を行っていければと考えています。